

人権教育の視点とは・・・

<視点1>

「**学習に参加している**」という実感をもたせることは、人権が尊重される授業づくりの第一歩です。「自分が必要とされている」有用感や「**できた**」「**わかった**」という成就感・達成感を実感できるようになります。

<視点2>

学習課題を**自己決定・選択**させたり、自分の考えをつくらせたりすることは、「**自他の人権を守るための実践行動**」ができる力を育てることにつながります。

<視点3>

交流活動を位置付けることは、**人権感覚の育成**に必要な資質・能力である「**想像力や共感性**」「**コミュニケーション能力**」「**人間関係を調整する能力**」等の力を育てることにつながります。

👉 板書を人権教育の視点で見ると

・ 多様な考えを板書し、それをもとに話し合わせることで、互いの考えの共通点や相違点に気付くことができ、自他を尊重する態度の育成につながります。

生徒指導の視点とは・・・

<視点1>

めあて、学習の見通し、自分の考えをもたせる「**自己決定の場**」は、自ら判断し、行動しながら主体的に問題を解決していく態度を育むことにつながります。

<視点2>

交流活動等を行うことは、「**共感的人間関係 (You are O.K. の感覚)**」を育成し、他者理解・受容を深め、自律性等を高めることにつながります。

<視点3>

整合性のあるまとめをすることは、「**自己存在感 (I am O.K. の感覚)**」を育成し、充実感や達成感を与え、自己理解を深めることにつながります。

👉 板書を生徒指導の視点で見ると

・ 児童生徒の考えを板書することで、一人一人が大切にされているという実感をもたせたり、共感的な人間関係を築いたり、自己存在感を高めたりすることにつながります。

特別支援教育の視点とは・・・

<視点1>

1時間の授業の流れが見通せる「**クリア (明確化)**」「**シンプル (焦点化)**」な導入は、安心して授業に参加できる雰囲気づくりにつながります。

<視点2>

「**シンプル (焦点化)**」「**ビジュアル (視覚化)**」は、子どものつまずきや困りを軽減することにつながります。

<視点3>

考えを「**シェア (共有化)**」することは、違う考えを受け入れて自分の考えをもったり、深めたりすることにつながります。

「**シンプル**」……本時のねらいや発問の焦点化、余分な刺激や情報をなくすなどの情報の焦点化
「**クリア**」……授業展開の筋道の明確化、活動内容や順序などの見通しの明確化
「**ビジュアル**」……視覚情報や具体物の併用
「**シェア**」……少人数で話し合う活動を設定する等、発言の機会の確保と考えの共有化

👉 板書を特別支援教育の視点で見ると

・ 板書についても「シンプル」「クリア」「ビジュアル」にすることで、特別な支援が必要な児童生徒への効果的な支援につながります。

<参考> 「授業改善のStrategy Vol. 6 中学校編」 福岡県教育委員会(平成26年)
「実践! 指導の手引き~授業のための基礎・基本~」 福岡県教育委員会(平成26年)
「通常の学級におけるユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり」
福岡県教育センター(平成27年)



わかりやすい板書は人権教育、生徒指導、特別支援教育につながっているんだな!

これでなつとく!

授業づくりの虎の巻Ⅱ

本リーフレットは、板書を**人権教育**、**生徒指導**、**特別支援教育**の視点で整理したものです。

わかりやすい板書は、児童生徒の学ぶ環境をつくる上でとても大切です。授業においては、児童生徒の理解や思考を助ける有効な手立てとなります。

今回は、中学校「理科」の板書例をもとに説明をします。どの教科等の授業にもつながります。授業づくりのヒントとして、ぜひご活用ください。

👉 わかりやすい板書とは

- 友達の様々な考え方がわかり、自分の考えをつくる手がかりにすることができる。
- 板書の情報をもとに、思考を深めたり、整理したりすることができる。
- 1単位時間の学習の展開や内容を、確認したり振り返ったりすることができる。

平成29年3月作成

福岡県教育庁京築教育事務所

中学校理科の板書例

「めあて」を板書することは

＜人権教育の視点では＞
子どもとやりとりして作った板書
⇒自己存在感をもたせ、**参加意欲を高めること**につながります。

＜生徒指導の視点では＞
つぶやきなどを生かした板書
⇒大切にされているという実感をもたせ、**自己存在感を高めること**につながります。

＜特別支援教育の視点では＞
焦点化されためあてのある板書
⇒やるべきことが見えやすくなり、**安心して取りかか**ることができます。

子どものつぶやき

今日は、電球のつなぎ方を変えて抵抗の大きさやちがいを調べるんだな。ほくもできそう！

「学習問題」を板書することは

＜人権教育の視点では＞
既習学習と比較できる板書
⇒学習課題が明確になり、**学習への参加を実感させること**につながります。

＜生徒指導の視点では＞
学習問題の提示を工夫した板書
⇒課題がわかることで、主体的な学びとなり、**自己決定を促すこと**につながります。

＜特別支援教育の視点では＞
学習問題を確認できる板書
⇒いつでも確認することができ、聞きのがしや聞きまちがいによる**つまづきを減らすこと**につながります。

導入

- 前時までの学習を振り返る。
- めあてをつかむ。

展開

- 学習の見通しをもつ。
- 自分の考えをつくる。
- 考えを交流する。

まとめ

- まとめる。
- 本時の学習を振り返る。

めあて 電球(抵抗)のつなぎ方によって全体の抵抗の大きさがどう変わるのか明らかにしよう。

問題 「全体の抵抗の大きさはつなぎ方によってどうなるのか」

実験方法 (1) A-B-Cの回路において、以下の大きさを測る。
- 電球両端の電圧の大きさ
- 回路全体に流れる電流の大きさ
(2) 回路全体の抵抗の大きさを求める。

予想 ○ 並列回路→ 全体の抵抗の大きさは小さくなる。
(理由) それぞれの電球(抵抗)にかかる電圧が電源の電圧と等しいため、1つの電球に流れる電流が大きくなるから。

実験結果

<A: 抵抗1個>				<B: 直列回路>				<C: 並列回路>			
電圧(V)	電流(mA)	抵抗(Ω)		電圧(V)	電流(mA)	抵抗(Ω)		電圧(V)	電流(mA)	抵抗(Ω)	
1.50	150	10.0		1.50	75.0	20.0		1.50	300	5.0	
2.班	1.50			1.50				1.50			
3.班											
4.班											

考察

- 直列回路では、全体の抵抗の大きさは電球1個の時より大きくなる。
- 並列回路では、全体の抵抗の大きさは電球1個の時より小さくなる。

まとめ 直列回路では、全体の抵抗は、それぞれの電球の抵抗の和になる。
並列回路では、全体の抵抗は、それぞれの電球の抵抗より小さくなる。

「見通し」を板書することは

＜人権教育の視点では＞
結果や解決方法が見通せる板書
⇒自己選択・決定の場を設定することになり、自分で**「感じ、考え、行動する」**力を育てることにつながります。

＜生徒指導の視点では＞
自分の考えを自己決定できる板書
⇒自己理解・受容を促し、**自主性を高めること**につながります。

＜特別支援教育の視点では＞
見通しをシンプルにした板書
⇒何を調べればよいのかが明確になり、**落ち着いて意欲的に取り組むこと**につながります。

子どものつぶやき

並列回路では、抵抗の大きさは小さくなると思うな。実験の方法もわかった。調べてみよう。

「個やグループの考え」や「話し合ったこと」を板書することは

＜人権教育の視点では＞
異なる考えが比較できる板書
⇒同じものを見ても、見方や考え方に違いがあることに気づき、**多様性の理解**につながります。

＜生徒指導の視点では＞
自他の考えが共有できる板書
⇒自他の考えを大切にし、**「共感的人間関係(You are OK)」**を育てることにつながります。

＜特別支援教育の視点では＞
絵図やマーク、色を効果的に使った板書
⇒考えを比べやすくすることで、友達の考えを取り入れ、**自分の考えをつくること**につながります。

子どものつぶやき

- ・ なるほど、そんな考え方もできるんだな。○○は同じだけど、△△は、違うなあ。
- ・ ○○さんの考えって、すごいなあ。
- ・ 他のグループの実験結果と見合わせたら、考えがまとまってきたな。わかった！

「まとめ」を板書することは

＜人権教育の視点では＞
本時の学びを整理した板書
⇒「できたこと」「わかったこと」が明確になり、**成就感や達成感を実感すること**につながります。

＜生徒指導の視点では＞
子どもの考えを生かした板書
⇒自分の学びを振り返ったり、次の学習の**自己決定**をしたり、「**自己存在感(I am OK)**」の感覚を育てることにつながります。

＜特別支援教育の視点では＞
まとめをキーワード化した板書
⇒**キーワード化**することで、学んだことが明確になります。
めあてからまとめまでの1単位時間の流れが視覚化できることで、**何を、どのように学んだかを確認すること**につながります。

子どものつぶやき

- ・ 今日の学習で、電球のつなぎ方によって抵抗の大きさが変わることがわかった！
- ・ 抵抗の長さや太さが変わったらどうなるのかな？今日の実験方法やきまりを使えば、わかりそうだな。

板書 チェックシート！

- 文字は楷書で白を基本にしています。
- 座席の最後列から見える大きさで書いています。
- 色チョークで下線や囲み線を入れて見やすくしています。
- 子どもの発言をキーワード化して書いています。
- 板書はシンプルに整理しています。
- 黒板を使った後は、文字等をきれいに消しています。